

集团的自衛権行使容認閣議決定撤回!
「戦争のできる国」法整備阻止!

10・17

戦争への道を

ゆるさない

東京集会

10月17日 金 18時開場 18時半開会

日比谷公会堂 (東京・日比谷公園内)

講演: 集团的自衛権行使容認閣議決定撤廃と沖縄

講師: 前泊博盛 (沖縄国際大学教授・元琉球新報論説委員長)

主催: 戦争をさせない東京1000人委員会

(連絡先): 戦争をさせない東京1000人委員会 Tel: 03-5443-4110

取組団体: 壊憲NO! 96条改悪反対連絡会議 Tel: 03-5802-3809

集団的自衛権行使容認閣議決定撤回!

「戦争のできる国」法整備阻止!

10・17 戦争への道をゆるさない東京集会

安倍政権は、私たちと日本を、いったいどこに連れて行こうとしているのでしょうか?

特定秘密保護法の強行制定、国家安全保障会議設置、武器輸出3原則廃止……。

そして、7月1日には「米軍を守るため」の自衛隊の武力行使=戦闘を認める「集団的自衛権の行使容認」閣議決定を強行しました。そして、行使容認を法律で裏付ける個別法の改正を目論んでいます。

どれもこれも、日本を〈戦争ができる国〉に作り変え、わたしたちを〈戦争への道〉に引きずり込むための〈平和憲法破壊工作〉です。

私たち一人ひとりの意志を無視して〈戦争への参加〉を決定することは、立憲主義を否定し、民主主義国家の存立そのものを脅かす暴挙です。

この間、安倍政権は、単に憲法の破壊だけではなく、人権の破壊、生活の破壊を行なってきました。沖縄戦の後、米軍統治下、本土復帰後も米軍基地被害に苦しんできた沖縄県民の頭上に、危険なオスプレイを飛ばし、「辺野古新基地」建設を強行しようとしています。福島第一原発事故で仕事も住まいも奪われた被曝者を、今なお放射線量が高い地域に「帰還」させ、再被曝させようとしています。原発の再稼働が住民の安全・安心より優先されようとしています。

首相の言う、「国民の生命と財産を守る」ために、これからどれだけの人々が傷つき、犠牲となることを強制されるのでしょうか。誰かに犠牲を押しつける社会を、もう私たちは許してはなりません。いまこそ憲法の理念を、それを弄ぶ権力者から、私たち自身の手に取り戻さなくてはならないのです。

憲法破壊、戦争への道に「待った」をかけられるのは私たちです。安倍政権の企む〈壊憲〉に「そんなことは絶対許さない」と闘争宣言しよう。そして「10・17集会」に結集し、戦争への道を許さない闘いを職場・地域から展開しましょう!



前泊博盛 (まえどまり ひろもり) 氏プロフィール

1960年、宮古島市生まれ、明治大学大学院修了。

84年、琉球新報社入社後、社会部、政経部等記者を経て、編集委員、論説委員長となる。

2011年から沖縄国際大学経済学部教授。基地・軍事経済が与える地域経済への影響、経済安全保障、島嶼の経済・産業発展政策などを研究分野とする。

著書に『もっと知りたい! 本当の沖縄』(岩波書店)、『沖縄と米軍基地』(角川新書)、

『本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」』(創元社)などがある。

10月17日 金 18時開場 18時半開会

日比谷公会堂 (東京・日比谷公園内)

主催: 戦争をさせない東京1000人委員会

(連絡先): 戦争をさせない東京1000人委員会 Tel: 03-5443-4110

取扱団体: 壊憲NO! 96条改悪反対連絡会議 Tel: 03-5802-3809

